

2026 年 10 月 2 日

各 位

株式会社八十二長野銀行

サステナビリティ経営支援サービスにおける取組みについて

八十二長野銀行（頭取 樋代 章平）では、「サステナビリティ経営支援サービス」を通じて株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場（代表取締役社長 青木 幸彦）のサステナビリティ経営方針の策定を支援いたしました。

本サービスは SDGs に対する取組みを経営戦略に組み込んだ「サステナビリティ経営」を促すもので、お客さまの経営資源や経営理念、外部環境を踏まえ、サステナビリティ経営の軸となるマテリアリティ（重要課題）を設定し、サステナビリティ経営方針の策定を支援いたします。

当行は、金融サービスを通じてお客さまのサステナビリティ経営実現を後押しするとともに、地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

以下に概要をお知らせいたします。

【サステナビリティ経営方針策定企業の概要】

会 社 名	株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場
代 表 者	青木 幸彦
所 在 地	長野市
業 種	味噌製造業
事業内容等	みそ・醤油・糀・農産物加工保存食糧品の製造ならびに販売

※ マルモ青木味噌醤油醸造場さまのサステナビリティ経営方針は別紙をご覧ください

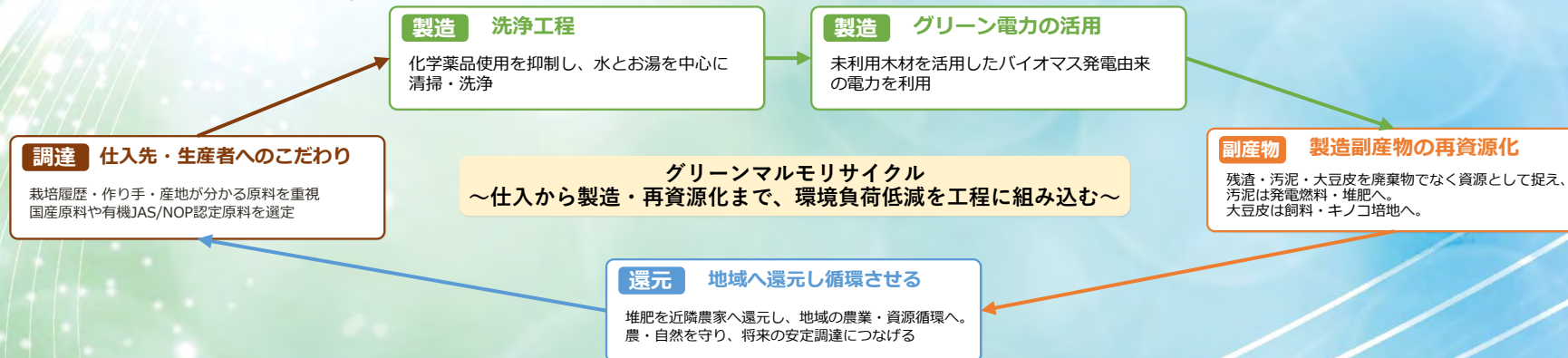
以 上

株式会社マルモ青木味噌醤油醸造場

サステナビリティ 経営方針

当社は「自然に育まれ、自然を育む。」という理念のもと、安心・安全な生みそづくりを通じて人々の健康と豊かな食文化に貢献します。
また、循環型ものづくり、生みそ文化の国内外への普及、従業員への適切な成果還元、地域貢献活動を通じた健康で豊かな暮らしの実現に取組み、持続的な企業成長を目指します。

自然を育む循環型みそづくり



重要課題

取組方針

2030年度目標

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 だれもが安心できる生みそづくりの実現

- 適切な情報開示と説明責任
- 品質の安定化・安全性の向上
- 品質管理・人材育成体制の維持

2 生みそ文化の国内外への更なる普及

- 生みそ・発酵文化の価値発信
- 海外販路の強化による事業成長
- 工場見学・食育による接点拡大

3 働きがい向上による企業成長の促進

- 心身の健康と働きやすさの向上
- 次世代人材の育成と技能継承
- 企業成長の成果を適切に還元

4 地域貢献活動を通じた健康で豊かな暮らしの実現

- 食を通じた地域の健康づくりへの貢献
- 食品ロスの削減につながる食料支援の推進
- 寄付・協賛を通じた地域公益活動への支援

- 商品回収・健康被害等に係る重大クレーム：ゼロの継続
- 検品・梱包等の工程における、品質・安全性向上および省人化に資する設備の計画的な導入
- 有機JAS認証・FSSC認証：2030年度以降も維持・継続更新
- 海外向け売上高比率：2030年度までに全社売上高の20%超を実現
- 海外の取引先等を対象とした工場見学受入れ：年4回以上実施
- 学校等を対象とした食育・みそ文化普及活動：年12回以上実施
- 全従業員を対象としたストレスチェックの実施・運用定着
- 企業成長の成果を踏まえた従業員への適切な還元の実現
- 「品質改善・安全性向上」研修：毎月1回以上実施
- くるみん認定の取得に向けた一般事業主行動計画の策定・実行

- フードバンク事業を通じた食料品提供の毎期実施
- 地域公益活動への寄付・協賛の毎期実施



持続可能な
社会の実現